

学校・教育委員会等の教育関係機関に勤める方しか加入できない

## 特別な生命保険 教弘保険

昭和27年 三木元岡山県知事

教員の私生活が不安定では教育振興は不可能  
相互扶助の精神で互いの福祉を考える空気の醸成が大切  
教職員だけの生命保険の創設が必要



### 教弘保険 7つの特徴

- **年齢による保険料増額なし**  
生命保険の多くは年齢に応じて保険料が高くなっていきますが、教弘保険は年齢・性別に関わりなく保険料は一律です。  
年齢が高くなったからといって保険料が上がることはありません。
- **転職・退職・病気になられても保険料そのまま**  
加入後に転職・退職、病気になられても保険料は上がりません。
- **リビングニーズ特約を無料で付加**  
余命6か月以内と診断された場合に、生存中に保険金を受け取ることが出来る「リビングニーズ特約」を無料で付けることができます。
- **各種福祉事業を用意**  
教弘保険に加入されている方は、各種福祉事業（宿泊補助・結婚祝金・出産祝金等）を受けることができます。  
申請様式は、弘済会岐阜支部HPから入手できます。
- **ライフサポート倶楽部会員としての特典**  
弘済会の会員は、「ライフサポート倶楽部の会員」になります。  
全国各地のホテル等を利用する際に割引などの特典があります。
- **保険金支払・給付は速く確実**  
ジブラルタ生命保険株式会社（提携保険会社）では、全学校に担当を配置し迅速に対応します。
- **保険料が低廉な分、付属保険によるニーズに応じたプランの利用も可能**

# 弘済会そくほう

令和2年 6月号

発行  
公益財団法人  
日本教育公務員  
弘済会 岐阜支部  
Tel. 058-272-9513

提携保険会社  
ジブラルタ生命保険  
株式会社  
営業所電話番号

岐阜第1/2/3営業所  
058-267-6006  
大垣営業所  
0584-83-4500  
関営業所  
0575-22-3793  
美濃加茂営業所  
0574-25-3658  
多治見営業所  
0572-21-3732  
中津川営業所  
0573-65-3517  
高山営業所  
0577-32-1623

### 読者の広場

■ 青い鳥

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休校となった年度末、前例のない突然の出来事への対応に追われた。少し落ち着きを取り戻し、自分は何ができたのかとふと考えた。あと一ヶ月あればもっと声を掛けられることもできたのにと悔やまれる。登校する子どもたちとの日々は、かけがえのないものであること、子どもにとって学校は大切な居場所であることを実感している。今「猪の独り言」にある言葉の重みを感じ、改めて教育について考えさせられている。

私の生家は、江戸時代末期に建てられた古民家である。母が施設に入って誰も住まなくなり、週末には後片付けのために帰っている。広い家なので、現職時代に持ち込んだ資料だけでなく、教育実習時の資料や学生時代の書籍、手紙類も殆ど残されていた。作業中も「懐かしいなあ」とついつい手に取ってしまい、片付けは今も続いている。押し入れの中から教員になった頃の「英語教育」と「現代英語教育」という月刊誌が整理された状態で10年分ほど出してきた。片付けを手伝っていた妻がそれらを見て、「あなたの若い頃の資料だけど、結構真面目に勉強してたんだねえ」と笑った。私は「集めていただけ…」と返したが、若い頃は未熟な教科指導力を何とかしたいと必死にもがいていたようだ。

### 投稿募集

弘済会では、読者の皆様からの投稿を募集しています。投稿は岐阜支部HPからできます。投稿者の中から、毎月抽選で粗品をお届けします。

教員2年目。当時は、今のように教育機器も整備されておらず、印刷機ですら鉄筆・ガリ版（若い方には理解不能だろうが）からようやく「専用謄写原紙に原稿を転写する感熱製版機リソグラフ」に変わりつつあるような時代だった。そんな時、あるメーカーの担当者が学校に最新の白黒コピー機を「試しに使ってください」と持ってこられた。担当者からは「本などに印刷されたイラストなどをTPシート（投影機で使用する透明のシート）にコピーすることもできる」と説明があった。



（裏面に続く）

### 弘済会の猪の独り言(42)

2月頃、あるドラマを見ていた時にこんな台詞が流れた。「人生は、下りエスカレーターを駆け上るようなもの」と。「面白い発想だなあ」と感心したが、長い教員人生を思い返すと納得できるところがある。「現状維持では退化するばかり」（ウォルト・ディズニ）の言葉に相違するような気がする。

## 退任参事のご挨拶

あつという間の6年間でした  
リンと鳴った電話で弘済会の方と話した時から  
がんばってやってきたつもりの六年間  
とにかく飛騨地区最初の参事ということで  
うしろに続く人のために何が出来るか考え  
ろせんを引くことができたかは心配ですが  
くろうしなくても仕事が出来たのは  
先生方やジブラルタ生命の方のおかげです  
年々変化する教育に触れることもでき  
かんしゃの気持ちを胸に参事卒業です  
飛騨地区参事 上休場 孝幸



参事として美濃地区・可茂地区・各務原市を担当させて頂きました。3年3か月間お世話になりありがとうございました。担当地区の学校を訪問した折には、どの学校も温かく対応して頂き、先生方や子どもたちの頑張っている姿や、弘済会や教弘保険に期待や信頼されていることを強く感じる事が出来うれしく思いました。これからも弘済会の諸事業へのご理解・ご協力と、教職員の安心や福祉向上に教弘保険が役立つことを願っています。



可茂地区参事 丹羽 太

## 参事の学校訪問レポート



東濃地区参事 鈴木 富重  
学校・団体で年金等のセミナーを開催

弘済会ではジブラルタ生命保険株式会社（提携保険会社）のご協力を得て、学校等における年金セミナーなどを開催しています。東濃地区では、過去3年間で24の学校と4つの校長会でセミナーが開催されました。学校に勤める者は子どもや学校のことを優先し、自分のことはつい後回しになってしまう傾向があります。私自身も退職して初めて自分の生き方について考えました。昔はそれでもよかったと思います。退職すると同時に年金生活が出来たからです。しかし今は、年金支給開始年齢も遅くなっています。しかも、年金だけでは生活が出来ないという時代です。平均寿命が長くなり、老後の不安が大きくなってきているのも問題となっています。こうした時代を生きていく先生方には、早めに問題を知り手を打っていただきたいと切に願っています。そのことがよい教育をすることに繋がっていくからです。忙しい毎日を送っておられる先生方ですが、40分の時間を作って学校で年金セミナーを行っていただければと思っています。

「教材開発こそ教材研究だ」と、言われる方もある。理科教育に携わられた先輩の中には、「若い頃は、毎晩遅くまで実験器具の開発に取り組んだ」と言われた方もあった。社会科の先生の中には、長期休業になると教材開発のために全国各地を廻られた方もある。世の中が便利になり、いい教材・教員が簡単に手に入る時代である。「そうした便利さの裏で教材研究の力が失われるようなことがあってはならない」と言っていると、「だから年寄りにはダメだ」とお叱りを受けるかもしれないが、学習シートを作ってみることも新たな教材を開発することも、教員にとって大切な教材研究の一つだと思う。



**対象**  
年度末（令和3年3月31日）年齢の1の位が「4歳又は8歳」となる、加入条件を満たす会員（加入条件は弘済会岐阜支部HPで確認願います）

**補助内容**  
令和2年4月1日～令和2年12月31日の間に3千円以上書籍を購入した場合に、申請に基づき3千円（図書カード・年度内1回限り）を補助

**申請期限**  
令和2年12月31日（当日消印有効）

**申請方法**  
申請書に領収書（又は納品書）を添付  
申請書は、弘済会岐阜支部HPから入手できます。

- 【書籍購入補助に関する申請時の留意事項】
- 申請書に添付する領収書・納品書はコピー可。また、複数枚・複数日にまたがっても構いません。
  - 書籍の分野は問いません。また、DVD等がセットになった書籍も対象となります。
  - 電子版書籍も対象になりますが、年間の契約の場合は契約日が指定期間内となっていることが条件です。
  - 領収書は、書籍を購入したことが分かればレシート類でも構いません。
  - 通販で購入された場合は、当該のサイトから領収書をダウンロードするか、商品に同封されている納品書（コピー可）を貼付してください。
  - 該当者の内、本年度会員となられた方は、会員となつて以降に購入した書籍が対象となります。

## 今年度も「退職予定者セミナー」を開催 昨年度は延べ344名が参加

弘済会が提携保険会社のジブラルタ生命保険（株）と共催で開催する標記のセミナーは、中立公正な情報提供を目的としています。

- 教弘会員でなくても参加可能
- 退職予定でない方でも参加可能
- 複数回の参加も可能

年金支給開始年齢の問題、平均寿命が長くなったことで生じる問題などから退職後の生活設計について、早めの準備が不可欠な時代です。今年度の開催日程は決まり次第お知らせします。セミナーでは、

- 退職後の生活設計
- 年金・介護
- 資産運用

などの情報が講師から提供されます。

その頃の私は、自分の教科指導力を少しでも補つために多くのシートを作っていたが、文字ばかりが多く生徒の興味・関心を引き出す工夫は全くないものだった。担当者の言葉をヒントに、私は持っていたイラスト集をコピーしてシートを作ろうと思った。日曜日、こっそり出勤した私は校長室に置かれたコピー機を使って作業を始めた。当時、校長室は施錠されてなかった。10枚のシートを作成した時、突然、コピー機が動かなくなった。慌てた私は説明書を参考に原因を探したが全く分からなかった。それでもコピー機を壊したとなれば責任を問われると、必死になって原因を探した。ようやく至った結論は「シートにイラスト等を焼き付ける部分が熱を帯び、そこでシートが溶けてくっついてしまったのではないか」ということだった。熱に強い専用シートを用いなければならぬなどという知識が、私にはなかったことが原因で起きた故障だった。私は、慎重に幾つかの部品を外し、溶けて残っていたシートを全て取り除いた。電源を入れ直し、再度、通常の用紙に印刷してみた。幸いなことにコピー機は正常に動いた。当時の校長先生は、既にお亡くなりになっている。40年を経ての告白である。